

資料 2

過疎地域持続的発展計画 (令和3年度～令和7年度)

令和5年度事業評価

- 〔A〕・・・計画以上に進んでいる
- 〔B〕・・・計画どおりに進んでいる
- 〔C〕・・・計画より遅れている、未着手、未実施など

令和5年度過疎計画事業実施状況

2. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
1. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	(4)過疎地域持続的発展特別事業 移住・定住	若者夫婦・子育て世代住宅支援事業 若者夫婦・子育て世代世帯の住宅取得費の補助を行う。	A	A	実績：泊4件、東郷8件（事業費：6,293千円） ※全町申請件数：57件	実績：泊1件、東郷8件（事業費：5,400千円） ※全町申請件数：40件	若者・子育て世代の住宅取得の補助を行い、定住を促進するとともに、地域を支える人材の呼び込みを図ることができた。
		移住定住住宅支援事業 県外からの移住者が、住宅を新築・購入・改修するための費用を補助	C	C	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件（事業費：0千円）	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：1件（事業費：280千円）	羽合地域への移住者から申請はあったが、泊・東郷地域への実績はなかった。引き続き制度周知に努めるとともに、移住者を泊・東郷地域に呼び込む施策も必要である。
		移住定住者家賃助成事業 県外からの移住者が、町内の賃貸住宅に入居する場合、家賃の一部を補助	B	B	実績：2件（事業費：140千円） ※全町申請件数：5件（事業費：369千円）	実績：1件（事業費：70千円） ※全町申請件数：3件（事業費：397千円 ※R4交付決定分含む）	県外からの移住者が町内の賃貸住宅に入居する場合に家賃の一部を補助を行い、定住を促進するとともに、地域を支える人材の呼び込みを図ることができた。
		移住者運転免許取得支援補助金 県外からの移住者が、自動車免許を取得した場合、取得費用の一部を補助	C	B	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件（事業費：0千円）	実績：1件（事業費：150千円） ※全町申請件数：1件（事業費：150千円）	移住定住施策として補助を行い、1件申請があった。
		移住者運転安心支援事業 県外からの移住者が、ペーパードライバー講習を受講する場合、講習費用の一部を補助	C	C	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：1件（事業費：7千円）	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件（事業費：0千円）	移住定住施策として補助を行ったが申請が無かった。引き続き制度周知に努める。
		移住定住中古住宅修繕支援補助金 県外からの移住者が中古住宅の修繕をする場合、修繕に要する費用を補助	C	C	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件（事業費：0千円）	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件（事業費：0千円）	移住定住施策として補助を行ったが、申請が無かった。引き続き移住相談会、町ホームページなどを活用し、制度周知に努める。
		三世代同居世帯等住宅整備費助成 新たに三世代同居を目的として、住宅の新築、購入、増改築及びリフォームに要する費用を補助	A	C	実績：5件（事業費：1,964千円） ※全町申請件数：6件（事業費：2,464千円）	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件（事業費：0千円）	令和5年度は申請がなかったが、今後も定住を促進するとともに、地域を支える人材の呼び込みを図ることができるよう制度周知に努める。
		住宅等仲介手数料補助金 住宅の購入や住宅用地の取得に要した仲介手数料の一部を補助	A	B	実績：7件（事業費：691千円） ※全町申請件数：12件（事業費：1,211千円）	実績：3件（事業費：116千円） ※全町申請件数：14件（事業費：1,297千円）	前年度より申請件数が減少した。地域を支える人材の呼び込みが図れるよう、制度周知に努める。
		移住支援金 東京23区に在住または勤務する人が、町内に移住し、県が指定する中小企業の求人に就業又は企業支援金を受けた人に支援金を交付	C	C	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件（事業費：0千円）	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件（事業費：0千円）	転入市町村に5年以上定住、指定企業に5年以上継続勤務の意思があることなど対象要件が厳しい面があるが、引き続き移住定住施策として制度活用を推進する。
		住宅団地造成等支援補助金 事業者が住宅団地造成や賃貸住宅整備に要する費用を補助	C	C	実績 0件	実績 0件	先進地事例の研究や不動産業者との意見交換などをふまえ検討する。
		結婚新生活支援事業 新婚世帯の住宅取得費の補助	C	C	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：1件	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件	結婚して間もない世帯が補助対象年度の2月中旬までに住宅新築・取得を行うことや所得制限など対象要件が厳しい面があるが、引き続き移住定住施策として制度活用を推進する。
		婚活支援事業 「縁結び支縁員」の活動支援、また中部地区市町と連携した婚活イベント等の開催 縁結び支援員の活動支援を行なうとともに、婚活イベントを開催	B	B	実績：成立件数0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件 婚活イベント実施回数：8事業8回（湯梨浜町から13人が参加） 成立件数：当初予算見込1件に対し実績0件。	実績：成立件数0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件 婚活イベント実施回数：8事業11回（湯梨浜町から9人が参加） 成立件数：当初予算見込1件に対し実績0件。	出会いの場の提供の他、個別相談やえんトリーの紹介を実施。独身男女に対し結婚につながる機会を提供することができた。

	縁結び推進事業 鳥取県が運営する会員制マッチングシステム「えんトリー」の入会登録料を助成	B	B	実績：1件 ※全町申請件数：2件（事業費：10千円）	実績：1件 ※全町申請件数：3件（事業費：15千円）	申込件数1件に対し補助。えんトリー入会時に間接補助できないか検討する。
	お試し住宅運営 移住希望者に暮らし体験を提供する	C	B	実績：9件20人（まつざき屋5件11人、もりた屋4件9人）	実績：17件43人（まつざき屋12件26人、もりた屋5件17人）	都市部での移住相談会、セミナー等でPRを実施し、移住希望者の短期滞在に活用することができた。
	移住相談窓口 コーディネーターを設置し、個に応じて柔軟に相談対応する	B	B	実績：相談63組（実際に移住した実績：3組4人）	実績：相談52組（実際に移住した実績：2組2人）	都市部での移住相談会に参加したり、独自でオンライン相談会を実施したりするなど、積極的に希望者にPRすることができた。
	空き家定住促進利活用補助金 空き家を借り上げて改修し、入居者に転貸する事業者に改修費等に要する費用を補助		C		実績：空き家改修0件	事業者による空き家の選定、所有者との交渉に期間を要し、翌年度に繰越となった。
人材育成	集落づくり総合交付金					住民間の交流や助け合いを推進し、地域共生社会の実現を進めるため、地域づくりや防犯環境の整備を支援した。アフターコロナ対策臨時交付金を創設し、新型コロナウイルスの影響により自粛されていた活動を再開するための後押し支援を行った。
	自主防災組織運営交付金 各区の自主防災組織の活動等について補助を行なう。	B	B	実績：44区 交付額：1,880,500円 【内訳】 東郷：34区 交付額：1,431,500円 泊：10区 交付額：449,000円	実績：45区 交付額：1,978,000円 【内訳】 東郷：34区 交付額：1,445,500円 泊：11区 交付額：532,500円	自主防災組織の訓練等運営を支援し、集落づくり・自主防災力の向上等を推進した。
	集落活性化事業交付金 各区で実施する地域の活動、運営経費の支援を行なう。	B	B	実績：46区 交付額：1,653,017円 【内訳】 東郷：32区 交付額：1,136,609円 泊：12区 交付額：516,408円	実績：47区 交付額：4,181,500円 【内訳】 東郷：33区 交付額：2,948,500円 泊：14区 交付額：1,233,000円	前年度から継続して、新型コロナの影響で事業規模の縮小又は、断念を余儀なくされた区も生じていた中、アフターコロナ対策臨時交付金の交付、集落回りの際に本制度の周知・質問疑問に回答するなどの支援を行った。
	地域にぎわい創出事業 地域が実施する運動会、祭りなどの経費補助	B	B	実績：5地域 交付額：770,231円 【内訳】 東郷：4地域 交付額：327,231円 泊：1地域 交付額：443,000円	実績：4地域 交付額：946,818円 【内訳】 東郷：3地域 交付額：514,818円 泊：1地域 交付額：432,000円	地域が実施する運動会、祭りなどの経費を補助した。全5地域のうち、花見地域を除く4地域が補助金申請を行い、補助金交付を実施。
	まちづくり創造事業 まちづくりを推進する団体の活動費を助成	B	B	【実績】 ・創造事業：1団体 交付額：99,718円 ・ステップ事業：1団体 交付額：100,000円	【実績】 ・創造事業：2団体 交付額：380,000円 ・ステップ事業：1団体 交付額：100,000円	令和5年度は創造事業の対象となる団体が新たに1団体あり、創造事業で2団体、ステップ事業で1団体の助成を行った。 来年度以降も制度を周知し新規団体を増やしたい。
	ボランティア団体活動助成事業 ボランティア団体の活動費を助成	B	B	実績：10団体 交付額：305,304円 【内訳】 東郷：6団体 交付額：270,218円 泊：4団体 交付額：80,086円	実績：9団体 交付額：362,788円 【内訳】 東郷：5団体 交付額：264,780円 泊：4団体 交付額：98,008円	ボランティア団体の活動に対する補助を実施。新型コロナウイルスの影響により、多くの団体が活動を休止していると聞取り。一方、R6以降は活動を再開する意向の団体もあり、今後も活動を支援していく。
	地域づくり推進事業 地域の新たな担い手育成、地域課題の解決等のためのセミナー等の開催や支援活動等の実施	C	B	具体的な事業実績なし（事業検討のみ）	【実績】 ・東郷・泊47区に面談依頼を行い、うち旭・漆原・北福区を除く44区と面談を実施した。 ・区長宅へ赴くなどし、各区の抱えている問題点の聞き取りを行った。	各区の抱える課題解決のための事業として各区が町へ行う申請書の作成支援や各区長宅へ職員が出向き、各区の状況や課題を確認するための聞き取りを行った。

	地域間交流	関係人口構築事業 都市圏在住の小学生と保護者を招いてサマースクールを開催 地域が必要とする人材について、首都圏等在住の人材をマッチングし課題解決を図る	C	B	・サマースクール 実施回数：0回 参加者数：0人 ・オンラインセミナー 実施回数：1回 参加者数：14人 ・現地セミナー 実施回数：2回 参加者数30人 ・現地ツアー 実施回数：1回 参加者数：4組7人	・現地セミナー 実施回数：2回 参加者数：62人（東京37人、大阪25人） ・オンラインセミナー 実施回数：1回 参加者数：28人 ・現地ツアー 実施回数：1回 参加者数：4組11人	現地セミナー2回、オンラインセミナー1回、現地ツアー1回を実施し、関係人口の増加促進を図った。
		拠点施設運営事業 移住検討者と地域住民との交流拠点施設（多世代交流センター・総合相談センター）を運営し、交流の活性化を推進	B	B	多世代交流センター利用実績：42722人 総合相談センター利用実績：5119人	多世代交流センター利用実績：49053人 総合相談センター利用実績：5144人	多世代交流センター、総合相談センターともに前年度を上回る利用者数であった。今後もより一層、集客に向けた取り組みを促進し、利用者の増加を図りたい。
		田舎暮らし・住民交流体験ボランティア事業 移住定住希望者が地域の行事や農作業を体験し、地域住民と交流することにより、移住定住を推進	B	B	・受入先新規登録：1件 ・体験ボランティアの受入：2件（4人）	・受入先新規登録：0件 ・体験ボランティアの受入：3件（3人）	3人の受入を実施し、町の暮らしや仕事を体験していただくことができた。
		お試し居住体験アテンド事業 移住検討者に地域居住体験の機会を提供		B		アテンド実施：5件	5組に対しアテンドを実施し、町の暮らしや名所などを知っていただくことで、関係人口の創出を図ることができた。
	(5) その他	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 県内の特定業種の企業に就職し、本町に定住する若者の奨学金返還額の一部を助成	C	C	実績：なし 新規申請者なし。	実績：なし ※R5全町申請者件数：1人 新規申請者なし。	県と協力してHP等により制度周知を行ったが、新規申請者がなかったため「C」評価とした。 今後も制度周知に努める。
		地域活性化活動事業 地域活性化のための地域おこし協力隊活動 地域活性化のためのN P O法人活動支援	C	B	デジタル・みらい戦略課:空き家担当3名、イベント・情報発信担当1名	みらい創造室:空き家担当3名、イベント・情報発信担当1名	各隊員の業務への理解が進み。空き家の掘り起こしやイベントを積極的に実施した。今後は、各隊員のやりたいことと業務をどう結びつけ、モチベーションを維持させていくかが課題である。

3．産業の振興

(1) 農 業

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事 業 内 容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
2．産業の振興	(1) 基盤整備 農業	農業水路等長寿命化・減災対策事業 既存農林道網の調査及び整備を行う。	C	C	既存土地改良施設について、定期的なパトロールを実施している。 東郷地区3件 門田、川上、高辻水路底張りコンクリート	既存土地改良施設について、定期的なパトロールを実施。 東郷地区2件 川上、高辻水路底張りコンクリート	町既存農林道のパトロールを実施し、大規模な損傷や危険個所について優先的に修繕を実施した。しかし、損傷の少ない箇所については実施に至っていない。今後、損傷が少ない等の理由により、優先度が低い箇所について、町管理農林道の通行量等により整備箇所の優先順位を決め計画的に実施していきたい。 また、泊地域における水路や道路について、土地改良施設に係る要望聴き取りを行い、事業実施につなげる。
		農地維持対策事業 基幹施設（農道、水路、橋りょう等）の維持補修	B	B	東郷地区：水路8件、農道5件、排土3件 泊地区：水路1件、農道2件	東郷地区：水路（排土・設備含む）10件、農道4件、農地（暗渠含む）1件 泊地区：水路（排土・設備含む）7件、農道3件、農地1件	東郷・泊地域における土地改良施設の維持補修を図った。
		鳥獣被害総合対策事業 農作物、農業施設に対する有害鳥獣被害の被害防止対策	B	B	R4実績 有害獣駆除 イノシシ箱わな貸出し：13件 その他箱わな貸出：9件 イノシシ駆除：269件 シカ駆除：92件 特定外来生物講習会：1回 カラス駆除：2回実施 捕獲実績なし	R5実績 有害獣駆除 イノシシ箱わな貸出し：8件 その他箱わな貸出：10件（延べ） イノシシ駆除：330件（支払分） シカ駆除：107件（支払分） カラス駆除：2回実施 捕獲実績なし	被害の多い地域への対策として箱わなを貸し出すなど有害鳥獣捕獲に寄与した。

		今滝梨生産団地整備事業 北福・漆原地内に団地を整備し、平坦地栽培への移行を促進	B	B	地元説明（地権者、入植者）を実施。 今滝梨団地測量設計を行い、施工計画案や計画図の作成を実施した。	地元説明（地権者、入植者）を実施。 今滝梨団地測量設計を行い、工事発注を実施。	入植者説明会、地権者同意の徴取を行い、実施設計及び工事発注を行い、事業を進めた。
	(4) 地場産業の振興 加工施設	活性化センターはまなす施設改修事業	B	B	施設の維持管理のため修繕を行った。（自動ドア改修工事、他修繕） 自動ドア改修工事：594千円 女子トイレ排水修繕：97千円 キュービクル配管修繕：99千円　他	要望に基づいてトイレ改修（2,497千円）を行い、2か所を洋式に改修。	利用者のニーズ等に対応し、施設維持管理を図った。 運営委員会を開催し、施設整備についての意見を聴取した。 適宜、修繕を実施した。

（２）林　　業

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事　業　内　容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
２．産業の振興	(1) 基盤整備 林業	多目的保安林再整備事業 多目的保安林「河口城跡ふれあいの森」再整備　雑木撤去・伐採等	C	C	パトロールを行ったが、伐採については実績なし。	パトロールを行ったが、伐採については実績なし。	パトロールを実施し、現状を把握したが、町管理農道や町道等及び民家付近の森林・竹林整備を優先的に整備しているため、多目的保安林の雑木等繁茂に対する再整備実施には至っていない。今後、他の森林・竹林整備の状況を見ながら、周辺の町道路管理者、河口城管理者等と連携をしながら実施に向けて検討していきたい。また、竹林整備事業や造林事業など再整備による活用についても検討していく。
		竹林整備事業 竹林の間伐等 （小浜、筒地、石脇、園、原、　宇谷地区）	B	B	R4実績：藤津地区（2,400㎡）、埴見地区（3,700㎡）間伐搬出、長江地区（1,900㎡）　林内整理	R5実績：埴見地区（2,200㎡）・方地地区（3,200㎡）・園梅地区（8,800㎡）間伐搬出、泊地区（2,300㎡）・園西川地区（6,700㎡）林内整理	県道付近や民家に近い箇所での竹林間伐を実施し、手入れのなされていない竹林の整備ができた。 引き続き竹林所有者と施工業者を繋げ、一体的な竹林整備を実施していく。

（３）水産業

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事　業　内　容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
２．産業の振興	(10) 過疎地域持続的発展特別事業	キジハタ種苗放流（栽培漁業地域支援対策事業）	B	B	県漁協泊支所に対して補助を行った。（事業費：164千円）	県漁協泊支所に対して補助を行った。（事業費：44千円）	水産物の安定供給、漁村部の地域振興に資することができた。
	第１次産業	サザエ、アワビ種苗放流（持続可能な栽培漁業推進事業）	B	B	放流用種苗の購入経費の補助を行った。（事業費：488千円）	放流用種苗の購入経費の補助を行った。（事業費：445千円）	生産量の増大を図った。
		就業希望者の研修補助（漁業者就業者確保対策事業）	B	B	漁業技術等を習得するための研修に対して補助を行った。 （事業費：2,386千円）	2人の研修生に対し漁業技術等を習得するための費用を補助（事業費2,792千円）。	1名の定置網漁業研修生に対して、支援を実施できた。
		省エネ型エンジン購入費補助（がんばる漁業者支援事業）	-		-	-	該当なし
		漁船用機器購入補助（がんばる漁業者支援事業）	-		-	-	該当なし
		輸送経費補助（がんばる漁業者支援事業）	B	B	泊～賀露間の輸送経費に対して補助を行った。（事業費：988千円）	泊～賀露間の輸送経費に対して補助を行った。（事業費：977千円）	生産意欲と収入の向上につなげ、漁業の活性化を図った。
		みなと広場維持管理事業	B	B	みなと広場の維持管理を図った。 （事業費：373千円）	みなと広場の維持管理を図った。（事業費：356千円）	引き続き施設の適切な維持管理を行う。
		養殖用施設・機械整備補助（がんばる養殖支援事業）					

		東郷湖覆砂事業（東郷湖漁協漁業振興補助金）	B	B	覆砂事業に対して補助を行った。（事業費：1,318千円）	覆砂事業に対して補助を行った。（事業費：1,748千円）	引き続き湖の環境整備を図り、シジミの育成につなげる。
		東郷湖クリーンアップ事業（内水面漁場環境保全事業）	B	B	湖内の清掃活動に対して補助を行った。（事業費：743千円）	湖内の清掃活動に対して補助を行った。（事業費：702千円）	引き続き湖の環境整備を図り、シジミの育成につなげる。

（４）商工業

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
2．産業の振興	(10) 過疎地域持続的発展特別事業	創業・特産品開発等支援事業 （創業・販路開拓支援事業）	B	B	実績：4件（事業費：1,227千円） ※全町申請件数：9件	実績：泊0件（事業費：0千円） 東郷1件（事業費：581千円） ※全町申請件数：8件	創業者【事業承継】（東郷1件）の取り組みに対し補助金を交付し支援した。
	商工業・6次産業化	（地域産業資源活用事業）	B	C	実績：2件（事業費：201千円） ※全町申請件数：3件	実績：泊0件（事業費：0千円） 東郷0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件	該当者なし。引き続き地域の特色ある資源の活用を推進するため周知等に取り組んでいく。 （評価をCにした理由：申請件数が0件だったため。）
	企業誘致	企業誘致事業 （企業拡充奨励金事業） （企業立地奨励金事業） （企業立地事業費補助金事業）	B	B	（企業拡充奨励金事業） 実績：3件（事業費：2,343千円） ※全町申請件数：3件 （企業立地奨励金事業） 実績：1件（事業費：253千円） ※全町申請件数：3件 （企業立地事業費補助金事業） 実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件	（企業拡充奨励金事業） 実績：泊0件（事業費：0千円） 東郷2件（事業費：2,107千円） ※全町申請件数：2件 （企業立地奨励金事業） 実績：泊0件（事業費：0千円） 東郷1件（事業費：240千円） ※全町申請件数：4件 （企業立地事業費補助金事業） 実績：泊0件（事業費：0千円） 東郷0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件	企業立地や事業規模拡充を推進するため、引き続き周知等に取り組んでいく。
		旧東郷中学校等跡地利用推進事業	B	B	実績：旧東郷学校給食センター等の一部施設の利用について、福羅酒造株式会社と契約を締結した。 また、6月末を期限としていた民間提案の募集を8月末に延長。優先交渉権者を決定し、現在事前協議中。	旧東郷学校給食センター等の賃貸借については、一部個人名義であった土地を町名義への変更登記を完了、土地の貸付面積を確定させ、3月19日付で福羅酒造株式会社との貸付契約変更となった。また、校舎用地、東郷運動場等については、民間提案制度による優先交渉権者と事前協議を重ね、令和6年4月3日付で基本協定を締結する。	慎重かつ迅速に、進行させる。 また、優先交渉権者による事業計画の進展が図れるよう、県とも連携を図りながら、企業支援制度を案内する。
	その他	雇用確保事業 （雇用促進奨励金事業）	C	B	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件	事業認定：泊0件、東郷1件 ※全町認定件数：1件 実績：泊0件（事業費：0千円） 東郷0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件	事業認定1件（東郷）あり。奨励金の交付は令和6年度。 雇用を推進するため、町広報誌や町ホームページでの周知、ハローワーク、町商工会等関係団体を通じての制度周知に取り組んでいく。

（５）観光及びレクリエーション

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	

		観光客受入環境整備事業 （観光施設等の整備・改修）	-	B	令和４年度 予算措置なし ※全町設置数：18ヶ所	観光案内看板再整備事業 実績 撤去2カ所（事業費：932千円） 北栄町内観光案内看板老朽分 ※観光案内板16ヶ所 観光客の心に響く滞在型地域創造事業 実績 整備1カ所（補助金：3,000千円） 農泊施設改修	観光施設等の整備については、老朽観光案内看板の撤去2件を実施した。また、民家を改修した農泊施設の整備事業1件について補助を行った。引き続きニーズを捉えながら事業を実施する。
2. 産業の振興	(9) 観光又はレクリエーション	グラウンド・ゴルフのふる里公園施設整備事業 （スーパースライダー整備・改修） （コース内施設整備・改修） （公園内工作物整備・改修）	B	B	R４：公園内の恐竜模型３体の再塗装をおこなった。	男子トイレ小便器の取替工事(多目的広場2つ、クラブハウス2つ)、多目的広場の柵(約28m)改修工事を実施した。	グラウンド・ゴルフのふる里公園について、施設の整備改修を行った。
		泊駅舎整備事業 泊駅舎の改築について、設計を行い工事に着手した	B		7月改築完了		
		多目的温泉保養施設整備事業 （施設整備・改修）	B	B	R４：昇温ポンプ、スライダーポンプ、補給水ポンプ、フィルター式ろ過機、空調ポンプ、消火ポンプの更新をおこなった。	薬液タンク更新工事、中央監視装置更新工事を実施した。	R３に実施した施設調査診断結果および指定管理者との協議に基づき、施設の整備改修を行った。
		松崎駅トイレ等整備事業	C	C	実績なし	実績なし	これまでは泊駅舎の建て替え工事に注力していたため、松崎駅についての検討が進んでいなかったが、今後、駅舎も含め整備を検討していく。
	(10) 過疎地域持続的発展特別事業 観光	観光客受入環境整備事業 （着地型観光商品造成） （各種地域振興イベントの開催） （公衆無線LAN整備支援）	C	C	【着地型観光商品造成】 予算措置なし（観光協会による新たな商品造成もなし） 【各種地域振興イベントの開催】 水郷祭を7月17日、泊夏まつりを7月30日に開催。 【公衆無線LAN整備支援】 実績 0件（事業費：0千円） ※全町実績 0件	【着地型観光商品造成】 町観光協会造成による「愛犬と一緒にハウオリ祈願」7月開始（13件、14人） （町観光協会補助金：10,483千円） 【公衆無線LAN整備支援】 実績 0件（事業費：0千円） ※全町実績 0件	【評価をCとした理由】 着地型観光商品については町観光協会「宮本神社で愛犬と一緒にハウオリ祈願」を7月から開始し、13件（14人）の利用があったが、レストラン吉華の事業撤退により今滝「滝床料理」が休止となっているため。 ※着地型観光商品：選果場見学&梨の試食、野花梅溪ツアー等 【対策・今後の取組】 既存の着地型観光商品は東郷梨、野花梅など本町の特徴を存分に生かしたものである。観光商品の造成については観光協会が主となっているため、連携の上、既存の観光商品のブラッシュアップを図りながら、地域おこし協力隊員の活用も含めて新規商品の開発を進めていく。公衆無線LAN整備支援事業については、令和3年度から実施の事業であるが大規模な旅館は改修済みであり、実績もなかったことから、今後は予算措置を行わない。
		グラウンドゴルフのふる里公園指定管理事業 （施設指定管理）	B	B	グラウンドゴルフふる里公園の維持管理などを指定管理者を定めて運営した。 （事業費 8,555千円）	グラウンドゴルフふる里公園の維持管理などを指定管理者を定めて運営した。 （事業費 8,755千円）	利用者の利便性向上及び経費縮減のため、引き続き指定管理者による適切な施設管理を行っていく。
		多目的温泉保養施設指定管理業務 （施設指定管理）	B	B	町多目的温泉保養施設の維持管理などを指定管理者を定めて運営した。 （事業費 43,328千円）	町多目的温泉保養施設の維持管理などを指定管理者を定めて運営した。 （事業費 43,185千円）	利用者の利便性向上及び経費縮減のため、引き続き指定管理者による適切な施設管理を行っていく。

	グラウンド・ゴルフ振興事業 グラウンド・ゴルフの振興とスポーツ拠点化のため、各種イベント等を支援する。 (グラウンド・ゴルフ発祥地大会補助金) グラウンド・ゴルフの振興とスポーツ拠点発展を目的とする大会開催を支援する。	B	B	6月11日(土)・12日(日) 潮風の丘とまり 参加者 192チーム 576人 参加申込 21都府県	6月10日(土)・11日(日) 潮風の丘とまり 参加者 192チーム 576人 参加申込 23都府県	参加者を768人から576人に減らして実施した。(チーム数192は変更せず、1チームの人数を4人から3人に変更) 参加申込23都府県。
	(ワールドマスターズゲームズ2027関西補助金) グラウンド・ゴルフの振興と国際化を目的としてワールドマスターズゲームズにおいてグラウンド・ゴルフ競技の実施を支援する。	C	B	再延期の日程が2027年に決定した。	グラウンド・ゴルフ発祥地大会、国際大会、ねんりんピックえひめ大会でのPR活動を行った。	グラウンド・ゴルフ発祥地大会、国際大会、ねんりんピックえひめ大会で大会のPR活動やリーフレットの配布を行った。再延期の日程が2027年に決定したが、実施内容については、組織委員会、県、開催地が調整を進めている。今後も継続して協議等を行い、大会開催に向けた準備を進めていく。
	(グラウンド・ゴルフ国際大会補助金) グラウンド・ゴルフの国際化を目的として、世界各国の参加者による大会開催を支援する。	C	B	10月29日(土)・30日(日) 潮風の丘とまり 外国籍 2か国 5人 日本 53人	10月5日(金)・6日(土) 潮風の丘とまり 外国籍 4か国 63人 日本 83人	海外からの参加が可能になり、4か国から63人と、国内から83人の合わせて146人参加者により大会を開催した。海外からの参加ができるようになったので、積極的な集客を図っていく。 2027年のWMG開催までの大会日程等を決定した。
	(ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会補助金) ジュニアスポーツ振興とグラウンド・ゴルフ発祥地の振興を目的とする大会開催を支援する。	A	A	8月6日(土)開催 参加者87人	8月5日(土)開催 参加者146人	前年度よりも多くの参加者により本大会を実施することが出来た。今後も青少年へのグラウンド・ゴルフの普及、世代や地域を超えた交流推進を図っていきたい。
	(ねんりんピックはばたけ鳥取2024大会補助金)		B		発祥地大会をプレ大会として開催した。また、大会PR活動を行った。	令和6年10月の開催に向けて準備を進めていく。
	(グラウンド・ゴルフ国際化推進事業)	C	B	中古クラブ・ボールを7か国に約400本・個提供した。湯梨浜まちづくり隊による用具販売で、7か国に約5,000千円売り上げた。	海外で普及活動を実施したほか、海外の協会等に対する用具提供・用具販売に注力し、海外での普及を図った。	海外普及したマレーシア及びスペインの訪問先の関係者は、次回国際大会に参加すると明言した。さらに、マレーシアの議員が、地元の公園に専用コースを整備するなど、効果が見られた。中古用具提供及び用具販売についても例年どおりの実績を上げ、順調であった。
	スポーツ振興事業 (全国ベテラン卓球ゆりはま東郷大会補助金)	B	B	9月3日(土)・4日(日) あやめ池スポーツセンター 団体 7府県 68人 個人 7府県 45人	9月2日(土)・3日(日) あやめ池スポーツセンター 団体 5府県 108人 個人 8府県 81人	新型コロナウイルス感染症の5類移行や、参加部門の募集定員の見直しなど参加しやすくなるように実施した。参加者は、コロナ前の状況に回復傾向にあるので、積極的な広報に努めていく。

（6）産業振興促進事項

産業振興促進区域	業種	計 画 期 間	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
泊地域（旧泊村）及び東郷地域（旧東郷町）全域	製造業、情報サービス業等、農林水産物等販売業、旅館業（過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第23条に定められているすべての業種）	泊地域 令和3年4月1日～令和8年3月31日 東郷地域 令和4年4月1日～令和8年3月31日	C	C	申請なし。	なし	企業立地や事業規模拡充を推進するため、引き続き周知等に取り組んでいく。 （評価をCにした理由：申請件数が0件だったため。）

4. 地域における情報化

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
3. 地域における情報化	(1)電気通信施設等情報化のための施設 その他情報化のための施設	地域BWAシステム基地局整備支援事業 事業者による基地局の整備を支援する	C	C	事業者に泊地域への整備検討をお願いしたが、業務区域に同数整備の方針もあり、今年度の追加は困難と回答。	実績なし。	事業者について、検討を促した。泊地域への整備にむけて、引き続き事業者と協議を継続する。
		ゆりはまネット放送整備更新事業 光ケーブル網サブセンターの機器更新		B		東郷サブセンター放送設備更新（事業費25,465千円）	設備の耐用年数更新を実施するとともに、光通信の送信の信号レベルを1Gから10G対応に機能強化した。R6は泊サブセンターを同様の機能強化を行う。
	(2)過疎地域持続的発展特別事業 その他	デジタルデバイド（情報格差）解消事業 デジタルデバイド（情報格差）解消のため、高齢者等への情報技術習得機会の提供や、情報学習を支援	B	B	引き続き地域おこし協力隊により羽合、東郷、泊の各地域において週1回、個別相談及び教室を開催。	地域おこし協力隊により羽合、東郷、泊の各地域において、個別相談及び教室を開催。	羽合、東郷、泊地域を毎週、1日ずつ回っており、順調に推移。ただし、地域おこし協力隊が年度途中で退職し、協力隊が欠員となったため、令和6年1月からは個別相談会が開催できなくなった。2月・3月は週1回のみTCCの協力の元、代替開催した。令和6年度以降も地域おこし協力隊の募集を行うとともに、TCCに協力を仰ぎ実施する。また、地域の異世代交流による対策事業の導入を検討する。
		SNS活用情報発信事業 LINE公式アカウントによる効果的な行政情報発信		B		町公式LINE導入事業（事業費918,500円）	町公式LINEを構築し、住民への情報発信を強化する。R6.3末時点で、LINEともだち登録319名となった。今後、コンテンツを充実し、ともだち登録者数をさらに増やすように広報に努める。

5. 交通施設の整備、交通手段の確保

(1) 交通施設の整備

ウ 事業計画（令和3年度～令和7年度）

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
4. 交通施設の整備、交通手段の確保	(1)市町村道路	甲亀山線（防災） 越波対策 L＝61.1m	B	B	R4工事完了	R4工事完了	R4工事完了。
		原線（防災） 落石対策 L＝33.6m	B	B	R4工事完了	R4工事完了	R4工事完了。
		原線（バイパス）	C	C	進捗なし。	進捗なし。	現状では、緊急度の高い防災関連の道路事業を優先して実施しているため、道路新設・改良・拡幅などの事業進捗が図れていない。また、国の社会資本整備総合交付金の交付状況に道路事業の進捗が影響されるため、当該路線の現状での優先順位を示すことは困難である。

		宇谷溜池線（道路延長）	C	C	進捗なし。	進捗なし。	現状では、緊急度の高い防災関連の道路事業を優先して実施しているため、道路新設・改良・拡幅などの事業進捗が図れていない。また、国の社会資本整備総合交付金の交付状況に道路事業の進捗が影響されるため、当該路線の現状での優先順位を示すことは困難である。
		宇谷荒浜線（側溝改良）	C	C	進捗なし。	進捗なし。	現状では、緊急度の高い防災関連の道路事業を優先して実施しているため、道路新設・改良・拡幅などの事業進捗が図れていない。また、国の社会資本整備総合交付金の交付状況に道路事業の進捗が影響されるため、当該路線の現状での優先順位を示すことは困難である。
		方面高辻線（道路拡張）	C	C	進捗なし。	進捗なし。	現状では、緊急度の高い防災関連の道路事業を優先して実施しているため、道路新設・改良・拡幅などの事業進捗が図れていない。また、国の社会資本整備総合交付金の交付状況に道路事業の進捗が影響されるため、当該路線の現状での優先順位を示すことは困難である。 R6年度から測量設計を実施する。
		埴見第2支線（道路改良）	B	B	実績：測量・設計完了（L=50m）	事業着手に向けた地元調整	隣接する埴見第4支線を優先して実施し、R5年度に工事完了した。 埴見第2支線については、R4測量設計を完了。令和5年度地元調整を実施し同意を得た。 令和6年度から用地調査、用地買収及び工事を実施する。
		冠水対策事業 （道路嵩上げ、側溝整備）	B	C	旭地区、門田地区の冠水対策の測量を実施。	進捗なし。	国の社会資本整備総合交付金の交付状況に道路事業の進捗が影響されるため、当該路線の現状での優先順位を示すことは困難である。 令和6年度以降、設計を行い、冠水対策工事を実施する予定である。
		地域除雪活動支援事業	B	B	実績：35区 事業費（補助金）：1,245,000円	実績：33区 事業費（補助金）：1,206,000円	地域が実施する除雪活動に対して、活動経費を補助した。 今後も継続して支援を実施していく。
		除雪機械運転手育成事業	B	B	実績：2事業所 3名 事業費（補助金）：161,000円	実績：1事業所 1名 事業費（補助金）：67,000円	除雪機械の運転に必要な資格の取得に対して、支援を行った。 今後も継続して支援を実施していく。
		道路網再編計画調査研究 （小浜・園地区国道・JR横断） （一里浜線 宇谷延長、インターアクセス、佐美・門田バイパス等）	C	C	進捗なし。	進捗なし。	外部委託での計画調査研究を予定しているが、他の道路事業を優先するため未着手である。今後の着手時期についても現状では未定である。
	橋りょう	橋りょう点検・修繕 泊地域 13基 総延長 L＝202m 東郷地域 総延長 L＝711m	B	B	橋りょうについて点検を行った。	橋りょうについて点検を行った。	泊地域6橋、東郷地域29橋の点検を実施。橋梁の損傷具合等を考慮した計画通り、R5年度は泊地域、東郷地域共に工事を実施していない。 引き続き橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、計画的な点検補修を実施する必要がある。
	(10) その他	泊地下道改修 1箇所	B	B	管理者である国土交通省倉吉河川国道事務所と協議を行った。 R4上屋補修を国交省が実施。	管理者である国土交通省倉吉河川国道事務所と協議を行った。	一般国道9号泊横断地下道が老朽化しており、上屋補修について、国交省が道路施設として補修を行い、町が引継ぎ管理を行うことで協議を行った。 ワールドマスターズの開催もあり、早期の着手について依頼した。 令和4年3月議会にて道路認定済「町道地下道線」 令和6年度以降、重複管理協定、内装の補修を実施予定

(2) 交通手段の確保							
持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
4. 交通施設の整備、交通手段の確保	(9) 過疎地域持続的発展特別事業 公共交通	生活路線バス補助 路線バスの運行実績に応じた赤字額を町が補助	B	B	バス運行事業者に対し、支援を行なった。 事業費：14,049千円（14,048,722円）	バス運行事業者に対し、支援を行なった。 事業費：12,362千円（12,361,665円）	引き続き、交通網維持のため、支援を行なっていく。

		高齢者定期券購入費助成事業 3カ月、6カ月、1年定期券の購入費を助成	B	B	泊地域：17人 東郷地域：18人 事業費：211千円	泊地域：14人 東郷地域：11人 事業費：169千円	広報ゆりはま等で周知を図り、定期購入費の補助を行った。 引き続き、交通網維持のため、支援を行なっていく。
	その他	共助交通支援事業 住民相互による移動支援活動の支援・補助	B	B	原区により実施	原区により実施	原区が共助交通実施。

6. 生活環境の整備
(1) 水道施設

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
5. 生活環境の整備	(1)水道施設 簡易水道	簡易水道事業 老朽管路更新事業 水源地・配水池整備事業	B	B	日常監視により漏水状況等を確認。	日常監視により漏水状況等を確認。	日常監視（水道監視システム）により漏水状況を確認し、更新管路の検討を進めた。 ※水道監視システム：各水源地等に設置し、水道配水量等を監視。

(2) 下水処理施設

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
5. 生活環境の整備	(2)下水処理施設 公共下水道（特定環境保全公共下水道、農業集落排水処理事業）	・農業集落排水施設の特定環境保全公共下水道（泊浄化センター）への接続 泊浄化センターへの接続について検討を行う。	B	B	進捗なし	泊浄化センター改築設計時に農集排施設の統合も視野に処理能力の検討を実施	泊浄化センターへの接続について、業者によるデータ収集に基づき処理施設間の接続検討を行った。今後、費用対効果も考慮しつつ、有効なものから順次、事業実施について検討する。 令和6年度より泊浄化センターの改築を予定しているため、施設統合を視野に入れた改築計画の検討を行う。
		・農業集落排水施設間の接続（施設統廃合）	B	B	川上地区と高辻方面地区の統合の令和7年度からの事業化に向けた検討を実施。	施設統合後の維持管理方針等について、事業採択申請に必要な維持管理適正化計画の策定を実施	令和7年度からの事業採択（国庫補助事業）に向けて補助事業申請に必要な準備を進める。
		・特定環境保全公共下水道、公共下水道、農業集落排水処理事業の普及	B	B	宅地造成に伴い公共下水道東郷処理分区（久見地区1件）の下水道汚水桝整備を実施。	未普及対策として、東郷処理分区（旧東郷中学校跡地）周辺の下水道整備に着手	宅地化に合わせて今後も必要に応じて継続した下水道整備を実施する。
	その他	特定環境保全公共下水道（泊浄化センター）、公共下水道（野花ポンプ場）の各施設、管路、各マンホールポンプ場のストックマネジメント計画策定及び実施設計に基づく改築事業 東郷池周辺内水浸水対策事業（雨水）	B	B	処理場、ポンプ場の改築については進捗無し。 浸水対策事業については、松崎地区の排水ポンプ場が竣工した。	ストックマネジメント計画に基づき泊浄化センターの改築実施設計を実施 浸水対策事業については、松崎地区の排水ポンプ場の整備に向けた支障移転補償物件の調査を実施	ストックマネジメント計画に基づき、耐用年数が経過する施設から計画的に改築更新事業を実施していく。 東郷湖周辺内水浸水対策事業については、引き続き松崎地区の排水ポンプ場建設に向けて取り組んでいく。
	(7)過疎地域 持続的発展 特別事業 生活	地方公営企業会計適用事業 資産調査、整理及び会計システム導入	B	B	令和4年度より公営企業会計に移行し、導入した会計システムの支援として業務委託を実施。	継続して会計システムの支援業務を実施	令和4年度に企業会計に移行して二年目を迎えた。また、企業会計（法適用）となってから初めての決算となるため会計システムに係わる支援業務を継続して実施。当面は継続した支援が必要と考える。
		小規模集合排水の管路施設台帳調製・既存公共下水道台帳システムへの移行	B	B	進捗無し	進捗無し	公共下水道台帳システムへの移行に向けた検討を実施。今後、公共下水道台帳システムの更新に併せて小規模集合排水施設の台帳化も実施予定。

（３）ごみの減量化と処理

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
5 生活環境の整備	(7) 過疎地域持続的発展特別事業	環境パトロール 分別の徹底、住民との協働 各区のごみ排出状況を確認し、分別の徹底について周知を行う。	B	B	取組区域 実績：0区 ※全町件数：3区	取組区域 実績：3区	東郷地域3区において、各区の代表立ち合いのもと、不燃ごみ等の排出状況を確認した。
	生活	生ごみ分別回収・肥料化拡大事業 取組区域の拡大支援	B	B	取組区域 実績：7区 ※全町件数：9区	取組区域 実績：7区 ※全町件数：9区	新規の協力区が無かったため、今後も広報活動を実施しリサイクルへの協力を仰ぎたい。
		生ごみ処理機購入助成 購入助成 1 件 2 万円	B	B	実績：2件（事業費：29千円） ※全町申請件数：4件	実績：1件（事業費：20千円） ※全町申請件数：7件	東郷地区において1件の補助を実施した。今後も広報活動を強化しごみ減量を促進させたい。
	環境	不法投棄監視員・環境美化促進員の委嘱設置（地域内の巡視） 1 名	B	B	巡視回数 実績：72回 ※全町件数：108回	巡視回数 実績：72回 ※全町件数：108回	不法投棄監視員を泊・東郷地区担当として各1名委嘱し、月1回の巡回を実施した。環境美化促進員は3名を委嘱、泊・東郷地区において月2～3回の巡回を実施した。小型冷蔵庫等のリサイクル家電やタイヤ等の処理費のかかるものが増加傾向にあるため、今後も不法投棄と環境美化推進のため巡回を行う。
		地域清掃・海岸清掃活動支援 ボランティア清掃活動の回収 ごみの処分	B	B	ボランティア清掃実施回数 実績：20回 ※全町件数：38回	ボランティア清掃実施回数 実績：23回 ※全町件数：38回	泊地区では海岸清掃、東郷地区では東郷池周辺の清掃活動が行われた。引き続き、清掃ボランティアを支援していく。
		ごみ収集ステーションの設置・整備 未設置行政区へ設置 既存施設の整備	B	B	ゴミステーションの設置補助 実績：5件 ※全町件数：6件	ゴミステーションの設置補助 実績：2件 ※全町件数：4件	東郷地区において2件の修繕に対し補助を行った。全区を対象に翌年度の新設・修繕の意向照会を実施するとともに区長会において、ごみ収集ステーション及び補助制度の説明を行っており、今後も衛生環境維持のため、制度を周知し、支援を行なう。

（４）消防施設

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
5 生活環境の整備	(5) 消防施設	消防自動車購入事業 CD－1 型 1 台更新	A	A	分団再編を含め、ポンプ車の更新を検討	分団再編により、泊地域の2つの分団を1つに統合し、消防自動車（旧第4分団）の更新を実施しないこととした。	泊地域の消防団である第4分団と第5分団を団員減少により分団再編を実施した。それに伴い、令和7年度に製造から20年経過する第4分団の消防自動車の更新は不要となった。今後は、東郷地域の消防団のポンプ車が令和9年度に20年を経過するため、更新を検討していく。
		消防施設整備事業費補助 ホース、格納箱整備 区の管理する消防ホース、格納箱について、整備費の補助を行う。	B	B	補助件数 延31件 （泊地域10件 東郷地域21件） ※全町件数41件	補助件数 延35件 （泊地域11件 東郷地域24件） ※全町件数44件	区の管理する消防設備について、地域の申請に基づき補助を行った。今後も区長会において、補助制度の紹介を行っていく。
		準中型免許及び普通二輪免許取得事業補助 消防団員の免許取得について、補助を行う 5 件	B	B	補助件数 実績：0 件 ※全町件数：0 件	補助件数 実績：1 件 ※全町件数：1 件	消防団バイク隊として、団員に対して普通二輪免許取得事業の補助を1件実施し、バイク隊人員の確保に努めた。今後も引き続き団員に対して勸奨を行う。

（５）公営住宅

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
5 生活環境の整備	(6) 公営住宅	町営住宅の維持管理 町営住宅について設備の維持管理を行う。	B	B	町営住宅の維持管理を行った。 事業費：3,000千円	町営住宅の維持管理を行った。 事業費：2,714千円	水道、ガスの配管類やドア、床等建具の経年劣化による修繕を実施し、適正な維持管理に努めた。

		東郷地域松崎地区町営住宅建替事業	B	B	レークサイド長江団地が完成し、解体予定の町営住宅からの移転者らの入居を実施した。 事業費：477,478千円 木造2階建3DK：12戸 木造平屋2DK：10戸	上町団地の解体と建設が完成し、解体予定の町営住宅からの移転者らの入居を実施した。 事業費：432,748千円 上町団地：18戸	ほぼ計画通りの進捗であった。今後、堀の内団地と桜団地の一部を解体し、跡地駐車場整備を実施する。
		泊地域公営住宅の建替事業における民間活力の導入可能性調査業務 泊地域公営住宅の建替事業における民間活力の導入可能性調査を行う。	B	B	実績なし	実績なし	町営住宅等長寿命化計画に基づき東郷地域松崎地区町営住宅建替事業を優先して行っていたため、令和5年度は実績なし。東郷地域の事業終了後検討を進める。

（6）その他

ウ 事業計画（令和3年度～令和7年度）

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R4評価	R5評価	実績		R5評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
5．生活環境の整備	(7) 過疎地域持続的発展特別事業生活	現金自動預け払い機（ＡＴＭ）の整備補助事業 金融機関ＡＴＭの整備について、支援を行なう。	B	B	山陰合同銀行が実施した泊支所敷地内へのＡＴＭ（1基）移設費用及び維持管理費の支援（補助率2/3）をした。 事業費：3,856千円 （内訳）移設費補助：3,813千円 維持管理費補助：43千円	維持管理費の支援（補助率2/3）をした。 ※維持管理交付金：400千円	泊支所敷地内にＡＴＭ（1基）を設置し、供用開始している山陰合同銀行に対し、維持管理費の一部を支援した。 今後もＡＴＭ維持管理費の一部を支援することで泊地域の地域生活の利便性を確保するとともに、地域格差の解消につなげる。
		買物環境確保支援事業		A		実績：1件 ※全町申請件数：1件（東郷地域） 事業費：3,000千円	新規の小売店に対し、予定通り補助を行った。 今後も買物環境を整えるため、近隣に店舗がない地域への新規出店を促せるよう制度周知を行っていく。
		飲用水供給施設整備支援事業（水道法適用外） 老朽管路修繕事業 水源地・配水池修繕整備事業					

7. 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

（1）児童福祉

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R4評価	R5評価	実績		R5評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
	(2) 認定こども園	こども園整備事業 泊地域内の2園を統合し、新たな施設を整備	C	C	【泊地域】 2園の統合について、具体的な検討は進んでいない。	【泊地域】 2園の統合について、具体的な検討は進んでいない。	人口減少の見通しから、泊地域の2園は新築統合する方針としているが、現状では、他地域からの入園が多くある。人口推移や他地域の状況を考慮しながら、統合する場合の場所や時期、規模について検討したい。 【参考】H28：あさひ48人、わかば30人 計78人 R4：あさひ45人、わかば48人 計93人 R5：あさひ45人、わかば50人 計95人
		こども園施設改修事業 本地域のこども園の老朽箇所等の改修を行い、良好な保育環境を維持する	B	B	【泊地域】 わかばこども園園庭入口街路灯設置（328千円）、わかばこども園滑り台更新（484千円）ほか 計6件（943千円） 【東郷地域】 まつぎきこども園プールサイド床面改修（4,451千円）ほか 計8件（5,096千円）	【泊地域】 わかばこども園プール改修工事（3,630千円）、あさひこども園調理室エアコン更新（1,524千円）ほか 計7件（6,598千円） 【東郷地域】 とうごうこども園エコキュート改修工事（10,491千円）ほか 計2件（10,585千円）	老朽化による緊急的な修繕や計画的な修繕、工事を実施することで、子どもたちが健やかで安心して過ごせる環境を確保し園運営を進めることができた。

(8) 過疎地域 持続的発展 特別事業 その他	出産・入学・卒業祝金支給事業 第3子以降児の保護者へ出産祝金、小学校入学祝金、中学校卒業祝金を支給	B	B	出産祝金 【泊地域】7件(事業費：350千円) 【東郷地域】2件(事業費：100千円) ※全町件数：42件 入学祝金 【泊地域】3件(事業費：90千円) 【東郷地域】5件(事業費：150千円) ※全町件数：25件 卒業祝金 【泊地域】3件(事業費：90千円) 【東郷地域】6件(事業費：180千円) ※全町件数：19件	出産祝金 【泊地域】0件 【東郷地域】5件(事業費250千円) ※全町30件 入学祝金 【泊地域】0件 【東郷地域】11件(事業費330千円) ※全町24件 卒業祝金 【泊地域】4件(事業費120千円) 【東郷地域】10件(事業費300千円) ※全町34件	児童を養育する家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。今後も引き続きHPや広報等で制度周知を図っていく。
	妊婦健康診査事業 妊婦健康診査費助成で安全で健康的な出産を支援	B	B	【泊地域】8人(事業費：829千円) 【東郷地域】34人(事業費：1,724千円) ※全町件数122人(事業費：15,267千円)	【泊地域】7人(事業費：515千円) 【東郷地域】38人(事業費：2,535千円) ※全町件数117人(事業費：13,615千円)	妊婦1人あたり平均約13回の健診助成を行い、妊婦の安心安全な出産を支援することができた。
(9) その他	ファミリーサポートセンター事業 講習会、交流会の開催	B	B	講習会の開催 【泊地区】サポート会員数12人 【東郷地区】サポート会員数18人 ※全町サポート会員数：45人 研修会等を実施した。実施回数：0回 サポートを実施した。実施回数：3回 (泊：2回、東郷：1回)	講習会の開催 【泊地区】サポート会員数12人 【東郷地区】サポート会員数18人 ※全町サポート会員数：45人 研修会等を実施した。実施回数：0回 サポートを実施した。実施回数：9回 (泊：0回、東郷：9回)	ファミサポの利用により、保護者が安心して子育てをする環境の支援を図ることができた。泊地区と東郷地区の利用者の減少が見られるので、提供会員の募集とともに周知活動に努めていく。また、羽合地区で「初めてのファミサポ体験会」を実施。東郷・泊地域での実施も検討する。
	泊・東郷放課後児童クラブ事業	B	B	放課後の居場所を提供し、健全な児童の育成を支援した。 【東郷第1】登録69人 事業費10,241千円 【東郷第2】登録26人 事業費8,935千円 【泊】登録41人 事業費8,790千円	放課後の居場所を提供し、健全な児童の育成を支援した。 【東郷第1】登録82人 事業費10,490千円 【東郷第2】登録34人 事業費8,954千円 【泊】登録54人 事業費8,935千円	安心して児童が過ごせる放課後の居場所を提供し、保護者の子育てと仕事の両立支援をすることができた。
	子育て支援センター事業 育児相談、親子交流、保健相談 子育て支援センターの運営を図る	B	B	子育て支援センターの運営に努めた。 【泊地域】泊支援センター開設日数：0日 【東郷地域】 東郷支援センター開設日数：56回 育児相談：3回 親子交流会：12回 保健相談会：4回 職員研修：0回	子育て支援センターの運営に努めた。 【泊地域】泊支援センター開設日数：15日 親子交流会：2回 【東郷地域】 東郷支援センター開設日数：58回 育児相談：3回 親子交流会：6回 保健相談会：5回	新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことにより、R5年度は泊支援センターを月1～2回程度開所できた。町内全地域で未就園の親子が安心して過ごせる場所を提供し、利用者同士の交流を深めることができた。また、育児の悩みを共有しながら育児支援を図ることができた。
	家庭子育て支援事業	B	B	申請件数(R4.4.1～R5.3.31)： 【泊地域】8件 事業費：1,385千円 【東郷地域】24件 事業費：5,028千円 ※全町件数：105件	申請件数(R5.4.1～R6.3.31)： 【泊地域】9件 事業費：1,923千円 【東郷地域】13件 事業費：2,317千円 ※全町件数：79件	家庭子育て支援事業給付金の支給により、低年齢児の家庭で子育てを選択する契機となり、経済的支援に繋がったと考える。
	多子世帯保育料無償化 こども園等へ入園する第3子以降児の保育料を無償化	B	B	保育料無償：「泊地域 10人 事業費：2,858千円」「東郷地域 32人 事業費6,675千円」 ※全町件数：78人	保育料無償：「泊地域 9人 事業費：2,055千円」「東郷地域 16人 事業費4,767千円」 ※全町件数：50人	こども園に通う第3子以降の保育料について、無償化を行い、子育てを行う家庭の経済的負担を軽減することができた。
	児童虐待防止ネットワーク整備事業 ゆりはますこやかライン(休日夜間電話相談)の実施	B	B	利用者数(件数)：0人 事業費：59千円(電話料金) ※全町件数：0件	利用者数(件数)：【泊地域：0人】【東郷地域：0人】 事業費：55千円(電話料金) ※全町件数：2件	子育て相談窓口として、24時間電話相談を実施している。子育て相談は子育て支援課直通にかけてこられる事が多く、実績はない。

		母子手帳アプリ情報配信サービス 妊娠～子育て中の世代に対し子育てに関する情報配信・相談を行う。	B	B	利用者数（件数）：把握できない 事業費：396千円 ※全町件数：565人	利用者数（件数）：把握できない 事業費： 528千円 ※全町件数：639人	妊娠中～子育て中の方に活用を促しており、情報発信に努めることができた。今後も、保護者に役立つ子育てに関する情報発信を行っていく。
		産前産後支援事業 産前産後の妊産婦を対象に心身のケアや家事援助等の支援を行う	B	B	・デイサービス型：泊2件、東郷0件（事業費26千円）※全町件数32件 ・宿泊型：泊4件、東郷0件（事業費128千円）※全町件数12件 ・訪問型：泊0件、東郷2件（事業費6千円）※全町件数11件 ・ヘルパー派遣：泊0件、東郷0件 ※全町件数0件	・デイサービス型：泊0件、東郷0件※全町件数5件 ・宿泊型：泊0件、東郷0件※全町件数3件 ・訪問型：泊0件、東郷1件（事業費6千円）※全町件数7件 ・ヘルパー派遣：泊0件、東郷0件 ※全町件数0件	産後ケア事業の利用により、産婦の心身のケアや不安の解消を図った。今後も妊娠届出時及び訪問時に事業の周知を行うとともに、医療機関との情報共有を行い、心身の不調が軽度のうちに利用してもらえるようにしていく。
		乳児家庭全戸訪問事業 生後4カ月までの乳児のいる家庭を訪問し、必要な情報を提供を行った。	B	B	訪問件数：泊15件、東郷17件 ※全町件数：141件	訪問件数：泊5件、東郷27件 ※全町件数：114件	乳児のいる家庭を訪問し、必要な情報提供や保護者の育児不安の解消に努めた。訪問を通してその後の支援の必要性も確認し、必要な支援につなげていく。
		乳児健診事業 3～4カ月児、9～10カ月児の乳児健診を医療機関へ委託実施	B	B	健診件数：泊22件、東郷53件 事業費：471千円 ※全町件数：263件	健診件数：泊14件、東郷45件 事業費：371千円 ※全町件数：236件	健診による疾病の早期発見や子育て不安の強い保護者に対して支援ができるよう、健診を実施した。受診率100%を目標に、訪問時や健診時の声掛けや個別での声かけを行っていく。
		乳幼児健診事業 6カ月児健診等各種健診を実施	B	B	健診件数：泊8件、東郷28件 ※全町件数：140件	健診件数：泊7件、東郷23件 ※全町件数：125件	健診による疾病の早期発見や子育て不安の強い保護者に対して支援ができるよう、健診を実施した。受診率100%を目標に、訪問時や健診時の声掛けや個別での声かけを行っていく。
		病児・病後児保育事業 病気療養中又は病気回復期の児童を保育し、保護者の就労と子育ての両立を支援	B	B	病児保育延べ利用件数：泊7件、東郷16件 ※全町件数：44件 病後児保育延べ利用件数：泊1件 ※全町件数4件	病児保育延べ利用件数：泊6件、東郷16件※全町件数：54件 病後児保育延べ利用件数：泊0件、東郷4件※全町件数：6件	子の看護のための休暇が取得できない保護者の、仕事と子育てを両立させる手段として定着してきている。

（2）社会福祉

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R4評価	R5評価	実績		R5評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
	(5)障害者福祉施設	地域活動支援センター 障害者総合支援法の施行により、市町村が実施主体となる地域生活支援事業の必須事業。保健福祉センターつわぶき荘内に、障がい者等の創造的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流促進を図るために地域活動支援センターを設置し、障がい者等の地域生活支援の促進を図る。	B	B	実績：泊地域2人（事業費：1,441千円）、東郷地域5人（事業費：2,476千円） ※全町申請件数：10人、4,971千円	実績：泊地域1人（事業費：1,403千円）、東郷地域3人（事業費：1,323千円） ※全町申請件数：7人、5,161千円	泊地域1人、東郷地域3人の対象者に対し、障がいのある方の地域生活支援を実施することができた。
	(8)過疎地域持続的発展特別事業 その他	老人福祉センター・デイサービスセンター指定管理事業（施設指定管理）		B		町老人福祉センター及びデイサービスセンターの維持管理などを指定管理者を定めて運営した。 （事業費 6,793千円）	利用者の利便性向上及び経費縮減のため、引き続き指定管理者による適切な施設管理を行っていく。
		介護予防・日常生活支援総合事業	B	B	全町実績：筋トレ（延べ1411人） 脳トレ（延べ274人） ミニデイ（延べ504人） （事業費：36,763千円）	全町実績：筋トレ(延べ1612人) 脳トレ(延べ334人) ミニデイ(延べ518人) （事業費：34,562千円）	前年度より利用者数が増加している。 （筋トレ・脳トレ・ミニデイ等11事業）
		高齢者及び障がい者住宅改良助成事業（総合福祉課）	B	B	障がい者の住宅改良について制度周知を行った。 実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件	障がい者の住宅改良について制度周知を行った。 実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：2件（事業費：1,208千円）	令和5年度は、泊・東郷地区では障がい者については該当なし。広報等については実施できた。
		高齢者及び障がい者住宅改良助成事業（長寿福祉課）	B	B	高齢者の住宅改良について、制度周知を行い、支援を行なった。 実績：2件（泊1件、東郷1件）（事業費：837千円）	高齢者の住宅改良について、制度周知を行った。 実績：0件（事業費：0千円）※全町申請件数：1件（事業費：299千円）	令和5年度は、泊・東郷地区で高齢者について該当なし。広報等については実施できた。

6. 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	(9) その他	包括的支援事業（地域包括支援センターの運営） 総合相談 介護予防ケアマネジメント	B	B	全町実績：総合相談（520件） 全町実績：介護予防ケアマネジメント（394件）（事業費1,367千円）	全町実績：総合相談（550件） 全町実績：介護予防ケアマネジメント（235件）（事業費1,020千円）	総合相談については、介護保険申請や認知症を含む介護予防の相談が多くあり、適切にサービス利用や医療機関へつながらるように支援を行うことができた。ケアマネジメントについては、自立支援を目標にケアマネジメントを行うことができた。
		重度障がい者等タクシー料金助成事業 高齢者タクシー料金助成事業	A	A	実績：151件（泊65件、東郷86件） （事業費917千円） 全町実績：283件 （事業費1,816千円）	実績：188件（泊74件、東郷114件） （事業費1,284千円） 全町実績：356件 （事業費2,503千円）	申請件数は前年度比約70%増となり事業が浸透してきているが、利用率は令和4年度の約69%から66%と微減している。令和6年度から対象者の要件を見直し、より利用しやすい制度としていく。
		難聴高齢者補聴器購入費助成事業	B	B	実績：7件（泊3件、東郷4件） （事業費：210千円） ※全町実績：18件 （事業費540千円）	実績：9件（泊2件、東郷7件） （事業費：264千円） ※全町実績：20件 （事業費594千円）	本事業は令和3年8月から開始した事業で、令和5年度は26名の申請を予定していたが、申請者は20名だった。令和5年度は、年2回の町報への情報掲載により、申請件数が微増したものの、まだ広く周知ができていない状況である。広報活動にさらに力を入れて、より多くの方に利用していただけるようにする。
		小地域拠点集会所等バリアフリー事業	B	B	実績：泊地域0件（事業費：0千円）、東郷地域1件（事業費：411千円） ※全町申請件数：3件、1,743千円	実績：泊地域1件（事業費：102千円）、東郷地域0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：2件、530千円	東郷地域について該当なし、泊地域については1件の実施があった。今後も継続して周知啓発に取り組む。
		重度障がい者等タクシー料金助成事業	B	B	実績：泊地域3件（事業費：31千円）、東郷地域6件（事業費：61千円） ※全町申請件数：17件、138千円	実績：泊地域4件（事業費：66千円）、東郷地域7件（事業費：74千円） ※全町申請件数：18件、229千円	泊地域4件、東郷地域7件の申請があり、重度障害者のタクシー利用料金助成を行うことができた。今後も継続して周知啓発に取り組む。
		中山間地域買物支援事業 中山間地の買物支援事業者に対し、支援を行なう。	B	B	実績：1件 ※全町申請件数：1件（東郷、泊地域での移動販売）	実績：1件 ※全町申請件数：1件（東郷、泊地域での移動販売）	東郷、泊地域で移動販売を行っている事業者に対し、支援を行った。今後も買い物困難地域における買い物環境の改善を図るとともに住民が中山間地域で安心して暮らすための環境づくりを推進していきたい。
		社会福祉協議会への運営支援	B	B	社会福祉協議会への支援を行なう。 事業費：20,256千円 ※全町分	社会福祉協議会への支援を行なう。 事業費：23,648千円 ※全町分	地域福祉に係る人件費等について補助することにより、地域福祉の推進に資することができた。
		老人福祉センター・デイサービスセンター施設整備事業 （施設整備・改修）		B		デイサービスセンター玄関ホールのカーペット張替を行った。 事業費：880千円	玄関ホールのカーペットに剥がれが生じ、利用者の転倒に繋がるためカーペットの張替を行った。建物全体が経年劣化により修繕が必要な箇所が出てきており、今後も計画的に修繕していく必要がある。

8. 医療の確保
(1) 医 療

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
7. 医療の確保	(4)その他	各種がん検診 対象者の50％受診（目標値）	C	C	がん検診実施回数（集団検診 33回、個別医療機関検診 6月～R5. 2月末の期間実施） 【胃がん検診】 泊地域 実績：218件/対象者 1,614名（13.5％） 東郷地域 実績：641件/対象者 3,737名（17.2％）※全町受診者数 1,564件 【肺がん検診】 泊地域 実績：296件/対象者 1,614 名（18.3％） 東郷地域 実績：817件/対象者 3,737名（21.9％）※全町受診者数 1,976件 【大腸がん検診】 泊地域 実績：311件/対象者 1,614名（19.3％） 東郷地域 実績：749件/対象者 3,737名（20.0％）※全町受診者数 1,946件 【子宮がん検診】 泊地域 実績：159件/対象者 1,030名（15.4％） 東郷地域 実績：363件/対象者 2,372名（15.3％）※全町受診者数 1,058件 【乳がん検診】 泊地域 実績：110件/対象者 873名（12.6％） 東郷地域 実績：216件/対象者 1,975名（10.9％）※全町受診者数 627件	がん検診実施回数（集団検診 35回、個別医療機関検診 6月～R6. 2月末の期間実 【胃がん検診】 泊地域 実績：261件/対象者 1,594名（16.4％） 東郷地域 実績：631件/対象者 3,707名（17.0％）※全町受診者数 1,590件 【肺がん検診】 泊地域 実績：316件/対象者 1,594 名（19.8％） 東郷地域 実績：808件/対象者 3,707名（21.8％）※全町受診者数 1,993件 【大腸がん検診】 泊地域 実績：324件/対象者 1,594名（20.3％） 東郷地域 実績：774件/対象者 3,707名（20.9％）※全町受診者数 1,887件 【子宮がん検診】 泊地域 実績：149件/対象者 1,018名（14.6％） 東郷地域 実績：370件/対象者 2,342名（15.8％）※全町受診者数 1,032件 【乳がん検診】 泊地域 実績：95件/対象者 861名（11.0％） 東郷地域 実績：215件/対象者 1,962名（11％） ※全町受診者数 627件	集団健診でのがん検診の回数は35回。コロナ前のR1の受診者数に達していないが、回復傾向。大腸がんと子宮がん検診を除き、胃・肺・乳がん検診受診者は昨年を上回った。3地域の会場設定、町内巡回検診のみならず、大腸がん検診の窓口受付や健康相談での受付といった新しい取り組みを実施し、受診しやすい環境を整えたが、受付数は少なかった。周知方法等の工夫を再検討する必要がある。 また、休日健診の実施を2回から3回に増やし、家族での受診や、50～60代といった平日就労している層がより健診を受けやすい体制を整えるなど、目標に達成に向けて取り組んだ。 5大がん受診者総数（全地域）はが令和4年度受診者数より若干減ったため、評価を「C」とした。
		特定健康診査・特定保健指導 対象者の60％受診（目標値） 対象者の60％指導（目標値）	C	C	特定健診受診者（泊地域） 149名／泊地域対象者 396名 受診率37.6％ （東郷地域）354名／東郷地域対象者926名 受診率38.2％ 特定保健指導（泊地域） 6名／泊地域対象者 18名 受診率33.3％ （東郷地域）10名／東郷地域対象者 36名 受診率27.8％	特定健診受診者（泊地域） 157名／泊地域対象者 384名 受診率40.9％ （東郷地域）332名／東郷地域対象者870名 受診率38.2％ ※（全町）883名／全町対象者 2,298名 受診率 38.4％ 特定保健指導（泊地域） 8名／泊地域対象者 14名 受診率57.1％ （東郷地域）13名／東郷地域対象者 33名 受診率39.4％ ※（全町）31名／全町対象者 74名 受診率 41.9％	令和5年6月から令和6年2月末までの期間中、集団健診や個別医療機関での健診による特定健康診査を実施するとともに、未受診者への受診勧奨を年2回行ったが、受診率は泊地域では令和4年度より増加したものの、泊地域40.9％、東郷地域は昨年並みの38.2％と令和7年度の目標値60％には程遠い状況である。町全体としては、令和4年度より増加している。 今後も、受診状況を分析し、結果を検証しながら、受診勧奨を続けるほか、通院中で健診を受けていない人に対し、みなし健診の受診勧奨をするなど、未受診者対策をさらに強化していくことが必要である。 国が求める市町村国保における特定健康診査・特定保健指導の目標値がそれぞれ60％であり、それを目標値として定めているため、事業自体は計画どおりに進めており、特定健診については、受診勧奨等も行っているが、目標値に届かないため、評価を「C」としている。今後も国の定めた目標値が達成できるよう、事業を計画的に進めていく。

(2) 保健予防活動

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事 業 内 容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
		予防接種事業 [予防接種法等に定められた予防接種の実施] 乳幼児インフルエンザ、おたふくかぜ、予防接種の一部助成	B	B	乳幼児インフルエンザ R4実績：泊85件（事業費：128千円）東郷192件（事業費：288千円）※全町申請件数：875件 おたふくかぜ R4実績：泊9件（事業費：23千円）東郷32件（事業費：76千円）※全町申請件数：131件 予防接種 R4実績：泊334件（事業費：3,509千円）東郷：824件（事業費：8,550千円）※全町申請件数：3,563件	乳幼児インフルエンザ R5実績：泊71件（事業費：107千円）東郷173件（事業費：260千円）※全町申請件数：824件 おたふくかぜ R5実績：泊16件（事業費：42千円）東郷27件（事業費：68千円）※全町申請件数：135件 予防接種 R5実績：泊225件（事業費：2,650千円）東郷：706件（事業費：7,522千円）※全町申請件数：3,243件	定期予防接種の公費負担、任意予防接種の一部助成により乳幼児の感染症予防、重症化予防に努めることができた。また定期的な医療機関の受診にもつながっている。

7. 医療の確保	(4) その他	インフルエンザ予防接種助成事業 高齢者等への接種一部助成	B	B	【泊】実績：574件（事業費：1,068千円） 【東郷】実績：1,280件（事業費：2,381千円） ※全町申請件数：3,356件	【泊】実績：527件（事業費：981千円） 【東郷】実績：1,224件（事業費：2,277千円） ※全町申請件数：3,210件	例年接種率60％代を推移している。R5年度は、当初予算上70％の対象者への接種予定に対し、約58.9％の対象者に予防接種を実施し、インフルエンザのまん延を防止した。引き続き接種券の個別送付や広報等による情報提供を実施し、まん延予防に努める。
		肺炎球菌予防接種助成事業 65歳から100歳まで（5歳刻み、60歳から64歳の特定障がい者含む）の予防接種費用を一部助成	C	B	【泊】実績：28件（事業費：137千円） 【東郷】実績：65件（事業費：319千円） ※全町申請件数：189件	【泊】実績：29件（事業費：143千円） 【東郷】実績：71件（事業費：348千円） ※全町申請件数：203件	H26年度に定期予防接種化し、R5年度末までは経過措置で対象年齢が拡大されている。公費での接種は生涯1人1回限りと規定されており、R5年度は、予算上対象者の35％への接種予定に対し、接種率は28.1％となった。10月に経過措置の終了について町報で周知したこともあり、例年より、2月から3月にかけて接種する者の割合が増加した。 R6年度からは経過措置が終了し対象者が「65歳の者」等となるため、引き続き町報等で適切な情報提供を行い、接種券を交付し発症予防に努める。
		子宮頸がん予防ワクチン接種事業 中学1年生～高校1年生の女子を対象	B	B	【泊】実績：19件（事業費：777千円） 【東郷】実績：37件（事業費：1,589千円） ワクチンは1人3回接種が必要なため、R4年度内の延べ接種回数で事業費を算出 ※全町申請件数：120件	【泊】実績：12件（事業費：534千円） ※2価4価12回、9価11回 【東郷】実績：45件（事業費：2,341千円） ※2価4価25回、9価65回 9価ワクチンと2価4価ワクチンとで委託料が異なり、いずれも1人3回の接種が必要であるため、延べ接種回数で事業費を算出 ※全町申請件数：118件	接種後の重篤な症状等の調査によりH25～R3年度まで積極勧奨が控えられ、接種者がいない年もあったが、R4年度から接種券個別送付を再開し、R5年度から新たに定期接種対象となった9価ワクチンについても、同封のリーフレットやホームページで情報提供した。予算上接種率20％の見込に対し、15.8％の実績となった。積極勧奨を控えている間に接種機会を逃した世代へのキャッチアップ接種はR6年度末で終了のため、早期接種を勧奨し、子宮頸がん発症予防に努める。
		風しんワクチン接種費助成事業 妊婦及びその夫や同居者などの接種費用を一部助成	C	B	【泊】実績：1件（事業費：8千円） 【東郷】実績：0件（事業費：0円） ※全町申請件数：13件	【泊】実績：1件（事業費：6千円） 【東郷】実績：2件（事業費：16千円） ※全町申請件数：18件	県内でも全国的にも風しんの流行がなく、申請件数は十数件程度を推移している。予算上の助成見込数19件に対し、18件の申請があり助成を実施。流行前に予防することが重要であり、風しんの流行状況にかかわらず、今後も関係課と連携し、事業周知に努める。
		不妊治療費助成事業 不妊治療のうち体外受精、顕微授精及び人工授精に要する経費の一部を助成 不育症治療に要する経費の一部を助成	B	B	実績：泊0件、東郷 実7人、延べ10回 事業費：781千円 ※全町申請件数：実21人、延べ30回	実績：泊0件、東郷 実5人 延13回 事業費：690,501円 ※全町申請件数：実15人 延28回	特定不妊治療助成事業、人工授精費助成事業を実施し、不妊治療に必要な費用の一部助成を行った。妊娠を望む夫婦の選択肢として、不妊治療が広く認知されるよう、周知していく必要がある。
		健康づくり事業 心と体の健康相談 月に1回実施 健康教室 集落の要望に応じて出張開催	C	B	■健康相談（結果説明会含む） 合計9回実施。参加者229人 ■健康教室 泊地区：1回 東郷地区：3回	■健康相談（結果説明会含む） 合計17回実施。参加者412人 ■健康教室 泊地区：0回 東郷地区：4回	・月1回の健康相談日は、R5年度もテーマを決めて実施したこと、R5年度からみんなの元気館と龍鳳閣にも出向くようになったこと、さらに事業等で周知を強化したこと、リピーターが増えたことが参加者増につながったと思われる。 ・課題として、結果説明会については健診受診者の参加率を高めるよう引き続き声掛けを行うほか、参加されない場合にも個別に健診結果を説明する機会を設けて健康状態を把握してもらうよう勧奨していく必要がある。 ・健康教室については、実施地区が固定化しており未実施地区へ実施勧奨を行い、事業の周知を行う必要がある。

9. 教育の振興

(1) 学校教育

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R4評価	R5評価	実績		R5評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
8. 教育の振興	(1) 学校教育 関連施設 校舎 屋内運動場	泊小学校及び東郷小学校の省エネLED化工事 一式 蛍光灯からLED灯への取替工事	C	C	実績 なし 事業費：0千円	実績 なし 事業費：0千円	泊小学校空調機更新工事を優先したことなどから、LED化は未実施となり「C」評価とした。 今後も施設全体で優先すべき事項（設備等の更新・改修）に考慮しながら年次的に取り組んでいく。

		泊小学校及び東郷小学校の空調機更新工事一式 冷暖房設備の更新工事	B	B	実績 東郷小学校の校長室、職員室、休憩室、会議室、教育相談室、保健室の空調機更新 事業費：22,770千円	実績 泊小学校の校長室、職員室、保健室、図書室、調理室の空調機更新 事業費：13,765千円	更新時期を迎える空調機について、年次計画どおりに更新を行った。今後も施設全体で優先すべき事項（設備等の更新・改修）を考慮しながら年次的に取り組んでいく。
		東郷小学校の地盤改良事業 地盤沈下改修のための調査設計及び改修工事	B	C	実績 調査設計業務の実施 事業費：3,737千円	実績 なし 事業費：0千円	泊小学校空調機更新工事を優先したことなどから、未実施となり「C」評価とした。今後、地盤沈下により不陸が生じている犬走前の改修、破損している堅樋及び雨水桝の改修等を行う。
屋外運動場		学校施設・設備の改修・更新 老朽化等による泊小学校及び東郷小学校の施設・設備の改修・更新	B	B	実績 泊小学校：二平行滑り台の更新、教室吊戸の改修等・東郷小学校：男子トイレの改修等 事業費：2,420千円	実績 泊小学校：体育館放送機材更新、屋外運動場改修等・東郷小学校：複合遊具改修、ホール排煙窓改修等 事業費：5,987千円	更新が必要な泊小学校の体育館放送機材更新、東郷小学校の複合遊具改修を行うなど、適宜対応した。今後も施設全体で優先すべき事項（設備等の更新・改修）を考慮しながら年次的に取り組んでいく。
		泊小学校環境整備 イノシシ用侵入防止柵の改修等	B	B	実績 侵入防止柵の安全対策工事 事業費：484千円	実績 なし 事業費：0千円	令和2年度に整備したイノシシ用の侵入防止柵の上部に安全対策を講じ、校地内における鳥獣被害を防止するとともに安全安心な学校環境を提供した。
給食施設		老朽化等による泊小学校及び東郷小学校の施設・整備の改修・更新	B	B	実績 泊給食調理場の食器洗浄機修繕 事業費：184千円	実績 泊給食調理場の食器洗浄機及びガス回転釜用バーナーの修繕 事業費：537千円	修繕が必要な食器洗浄機及びガス回転釜用バーナーの修繕を行った。今後も施設全体で優先すべき事項（設備等の更新・改修）を考慮しながら年次的に取り組んでいく。
		泊小学校厨房機器等 一式 経年劣化による厨房機器等の更新	B	B	実績 プラストチラー購入 事業費：1,923千円	実績 ステンレス製角型二重食缶購入 事業費：317千円	ステンレス製角型二重食缶を購入し、安心安全な給食を提供できる環境を整えた。厨房機器等の更新については、優先すべき事項を考慮しながら年次的に取り組んでいく。
		安全安心な給食を提供するための厨房機器等の整備 東郷小学校給食配送車 1台 老朽化による配送車の更新	C	C	実績 なし 事業費：0千円	実績 なし 事業費：0千円	令和6年度に更新する予定としている。
(4) 過疎地域 持続的発展 特別事業 義務教育		泊小学校及び東郷小学校芝管理事業 芝刈込、施肥、除草剤散布、散水等 泊小学校 9,825㎡ 東郷小学校なかよし広場東側及び中庭 9 2 8 ㎡	B	B	実績 芝管理 事業費：3,313千円	実績 芝管理 事業費：3,499千円	良質な教育環境を維持するため、適切な芝管理を行った。今後も良質な教育環境を維持するために継続していく。
		ふるさと教育推進事業 郷土の良さを体験するための 学習及び活動の推進 文化伝承・スポーツ・食育・水産教室等	B	B	実績 学習活動 【泊小】水産教室、泊貝がら節体験、グラウンド・ゴルフ体験、梨の袋かけ等 事業費：86千円 【東郷小】ドラゴンカヌー体験、梨の袋かけ体験等 事業費：47千円	実績 学習活動 【泊小】水産教室、泊貝がら節体験、グラウンドゴルフ体験、なしの袋かけ体験等 事業費：89千円 【東郷小】梨の袋かけ体験、ドラゴンカヌー体験等 事業費：65千円	ふるさとに愛着を持つ児童生徒育成のための各種学習・体験活動を行った。今後もふるさとに愛着を持つ児童生徒を育成するために事業を継続していく。
		遠距離通学児童通学費補助 原及び宇谷地区から泊小学校まで通学する児童が通学のために利用する一般乗合旅客自動車の定期券購入費を補助 東郷地域の羽衣石地区から東郷小学校まで通学する児童に係る保護者の車両運行費を補助	B	B	実績 通学児童数：32人（泊小：31人、東郷小1人） 事業費：639千円	実績 通学児童数：32人（泊小：30人、東郷小2人） 事業費：770千円（泊小：746千円、東郷小24千円）	原及び宇谷地区から泊小学校まで通学する全児童のバス定期券購入費及び東郷地域の羽衣石地区から東郷小学校まで通学する児童に係る保護者の車両運行費を補助した。今後も対象地区児童の通学のために本事業を継続していく。
		特定地域選択制事業 羽合小学校区から泊小に通学するためのマイクロバス等の運行	B	B	実績 通学児童数：16人 事業費：2,095千円	実績 通学児童数：16人 事業費：2,401千円	羽合小学校校区から泊小学校に通学する児童の登下校のためのマイクロバスを運行した。今後も本事業を継続していく。 ※令和5年4月1日児童数：115人（前年比3人増） 令和5年度特定地域選択制利用児童数：16人（前年比増減なし） ※過疎債：2,200千円
		I C T 機器等更新（泊小学校・東郷中学校・湯梨浜中学校） 教育用・校務用・事務用の I C T 機器の更新	B	B	実績 液晶ディスプレイ・AppleTV（泊小学校・東郷小学校：各2台）、校務用パソコン（東郷小学校：4台）等の整備 事業費：2,427千円	実績 液晶ディスプレイ・AppleTV（泊小学校・東郷小学校：各2台）、サーバー（東郷小学校：1台）、タブレット（湯梨浜中学校：32台）等の整備 事業費：5,811千円	泊小学校及び東郷小学校の液晶ディスプレイ・アップルTVを整備した。また、更新時期を迎えた東郷小学校のサーバー及び湯梨浜中学校のタブレットを更新した。今後も計画的にICT機器等の更新を行っていく。

		スクールバス運行委託事業 泊・東郷地域から湯梨浜中学校に通学する生徒用スクールバス2台の運行 東郷地域（舎人及び花見地）から東郷小学校に通学する児童用スクールバス3台の運行	B	B	実績 大型バス5台運行 事業費：50,908千円	実績 大型バス5台運行 事業費：51,913千円	泊及び東郷地域から湯梨浜中学校に通学する生徒の登下校のためのスクールバスを2台するとともに、東郷地域（舎人及び花見）から東郷小学校に通学する児童用スクールバス3台運行した。今後も対象地区児童生徒の通学のために本事業を継続していく。
		フリースクール等利用料助成事業 不登校児童生徒が通うフリースクール等の利用料、交通費及び実習費等の助成	B	B	実績：1件 事業費：276千円 ※全町申請件数：3件	実績：0件 ※全町申請件数：1件	義務教育段階にある児童生徒の学びや成長を保障するため、不登校児童生徒が通うフリースクール等の利用料、交通費及び実習費を助成した。R5年度は対象地域からの申請は無かったが、今後も不登校児童生徒の学びや成長を保障するため、本事業を継続していく。
	高等学校	通学費助成事業 高校生等の通学に要する定期乗車券の購入費一部助成	B	B	実績 34件 事業費：1,460千円 ※全町申請件数：101件	実績 47件 事業費：2,242千円 ※全町申請件数：126件	泊及び東郷地域の子育て家庭における経済的負担を軽減するため、公共交通機関を利用して通学する高校生等の定期乗車券の購入に要する経費を助成した。今後も子育て家庭における経済的負担を軽減するため、本事業を継続していく。 ※過疎債：700千円

（2） 社会教育

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
8．教育の振興	(3)公民館、集会施設、体育施設等	中央公民館整備事業 照明器具改修（LED化）	B	C	中央公民館のホール及び第2研修室の照明をLED照明に取替を行った。 事業費3,058千円	未実施	これまで中央公民館のホール及び第2研修室、大講堂、事務室の照明をLED照明に取り換えてきたが、他室のLED照明化が未着手であるため、利用者が安心・安全・快適に利用できる拠点施設として、町民の集う場となるよう次年度以降計画的に取り組んでいく。
		泊体育館施設整備事業 耐震補強改修の設計・工事・監理	B	B	他の事業との調整によりR5年度に実施することとした。	耐震補強工事を行った。 工事監理 2,783千円 耐震工事 49,000千円	耐震工事とそれに合わせてトイレも改修し、利用者に安心・安全な施設の提供ができるようになった。
		東郷体育館駐車場整備事業 東郷体育館の駐車場整備	C	B	解体工事との調整により工事期間を延長した。（繰越）	駐車場整備工事を行った。 12,884千円	駐車場整備工事を行い、利用者に安心・安全な施設の提供ができるようになった。
		泊体育施設整備事業 （野球場・テニスコート等） （施設整備・改修）		B		テニスコートフェンス改修工事を行った。 2,809千円	テニスコートのフェンス改修工事を行い、利用者に安心・安全な施設の提供ができるようになった。
	図書館	図書館施設整備事業 （施設整備・改修）	B	B	照明器具改修（LED）を行った。 事業費 715千円	図書館箱読の補修工事を行った。 事業費 1,497千円	利用者に安心・安全な施設を提供することができた。 今後、閲覧ホールの照明改修を行う
		しおさいプラザとまり施設整備事業 （施設整備・改修）	B	B	照明器具改修（LED）を行った。 事業費 3,630千円	施設の維持・管理を行った。	利用者に安心・安全な施設を提供することができた。
	公園施設	東郷運動公園施設整備事業 施設整備計画の策定 施設改修の設計・工事・監理	B	B	長寿命化計画の策定を行った。 事業費8,470千円	灌漑ポンプ改修工事 1,962千円	灌漑ポンプの改修を行い、施設の適切な管理ができるようになり、利用者に安心・安全な施設の提供ができるようになった。
		東郷運動公園指定管理事業 （施設指定管理）	B	B	指定管理 事業費 12,300千円	指定管理 13,700千円	適切な施設管理ができた。 R5年からR9までの5年間の契約の1年目
	その他	文化会館整備事業 （施設整備・改修）		B		施設の維持・管理を行った。	利用者に安心・安全な施設を提供することができた。
	(4)過疎地域持続的発展特別事業 生涯学習・スポーツ	生涯学習促進事業 各種講座や教室等、生涯学習活動の推進	B	B	中央公民館 成人教育等教室の開催 33回 事業費 300千円 泊分館 成人教育等教室の開催 事業費 245千円	中央公民館 成人教育等教室の開催 43回 事業費 346千円 泊分館 成人教育等教室の開催 36回 事業費 275千円	新型コロナの感染拡大により中止となった事業もあったが、成人教育、家庭青少年教育、体育・レク、出前講座など感染対策を取りながら概ね実施することができた。引き続き社会教育の拠点施設として、町民に対する学びの場を提供する。

		みんなの健康づくり事業 幅広い年代の健康づくりを支援するための体制づくりと運動教室の開催	B	B	運動器具を整備したトレーニングルームに年間4,231人の利用があった。運動器具を使う教室、ストレッチ教室及び健康講座を計123回開催し延べ593人の参加があった。	運動器具を整備したトレーニングルームに年間5,455人の利用があった。運動器具を使う教室、ストレッチ教室及び健康講座を計110回開催し延べ605人の参加があった。	トレーニングルームの利用については、当初の見込みよりも多くの利用があった。次年度以降利用者の増や新規の利用者の獲得を行う。 教室については、定員に満たなかったものがあり、内容や開催する時間帯の検討を行うとともに、町スポーツに親しむ日にちなんでげんき館を無料開放するなど充実した教室の開催を目指す。
--	--	--	---	---	---	---	---

1 0．集落の整備

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
9．集落の 整備	(2) 過疎地 域持続的発展特別事業 集落整備	集落づくり総合交付金【再掲】					住民間の交流や助け合いを推進し、地域共生社会の実現を進めるため、地域づくりや防犯環境の整備を支援した。新型コロナウイルスの影響により、活動を中止する事業もあった。今後も活動の支援を推進する。
		自主防災組織運営交付金 各区の自主防災組織の活動等について補助を行なう。	B	B	実績：44区 交付額：1,880,500円 【内訳】 東郷：34区 交付額：1,431,500円 泊：10区 交付額：449,000円	実績：45区 交付額：1,978,000円 【内訳】 東郷：34区 交付額：1,445,500円 泊：11区 交付額：532,500円	自主防災組織の訓練等運営を支援し、集落づくり・自主防災力の向上等を推進した。
		防犯灯維持管理交付金 各区が設置している防犯灯について、維持管理の支援を行なう。	B	B	実績：51区 交付額：1,504,800円 【内訳】 東郷：38区 交付額：1,137,600円 泊：10区 交付額：367,200円	実績：51区 交付額：1,509,600円 【内訳】 東郷：38区 交付額：1,142,400円 泊：13区 交付額：367,200円	地域で設置している防犯灯の維持管理を支援し、地域の防犯等安全環境の維持に取り組んだ。
		防犯灯設置等交付金 各区の管理防犯灯について、更新の際のLED化を支援する、	B	B	実績：24区 交付額：923,792円 【内訳】 東郷：18区 交付額：727,846円 泊：6区 交付額：195,946円	実績：22区 交付額：899,766円 【内訳】 東郷：17区 交付額：728,929円 泊：5区 交付額：170,837円	地域で設置している防犯等について、脱炭素等推進のためのLED化について支援を行なった。
		集落活性化事業交付金 各区で実施する地域の活動、運営経費の支援を行なう。	B	B	実績：46区 交付額：1,653,017円 【内訳】 東郷：32区 交付額：1,136,609円 泊：12区 交付額：516,408円	実績：47区 交付額：4,181,500円 【内訳】 東郷：33区 交付額：2,948,500円 泊：14区 交付額：1,233,000円	前年度から継続して、新型コロナの影響で事業規模の縮小又は、断念を余儀なくされた区も生じていた中、アフターコロナ対策臨時交付金の交付、集落回りの際に本制度の周知・質問疑問に回答するなどの支援を行った。
		地域にぎわい創出事業 地域が実施する運動会、祭りなどの経費補助	B	B	実績：5地域 交付額：770,231円 【内訳】 東郷：4地域 交付額：327,231円 泊：1地域 交付額：443,000円	実績：4地域 交付額：946,818円 【内訳】 東郷：3地域 交付額：514,818円 泊：1地域 交付額：432,000円	地域が実施する運動会、祭りなどの経費を補助した。全5地域のうち、花見地域を除く4地域が補助金申請を行い、補助金交付を実施。
		舎人地区多目的集会施設多目的ホールLED照明改修事業 照明器具改修（LED化）	B		多目的ホール照明器具（非常灯含む）の改修工事を行った。 事業費 2,167千円	令和4年度 事業完了	
		空き家住宅改修事業 空き家バンク登録物件の所有者で、移住定住者を受け入れるための改修費用を補助	C	C	実績：0件 ※全町申請件数：0件	実績：0件 ※全町申請件数：0件	空き家バンク登録物件の所有者が改修費を負担するケースが少なく、需要が乏しいためR5年度をもって制度を廃止した。
		空き家利活用流通促進事業 空き家を所有、賃貸、購入する町内在住者（町内移住予定者を含む）に対し改修工事等に必要な経費を補助	B	C	実績：1件 ※全町申請件数：1件	実績：0件 ※全町申請件数：1件	空き家を所有、賃貸、購入する町内在住者（町内移住予定者を含む）に対し改修工事等に必要な経費を補助、定住を促進するとともに、地域を支える人材の呼び込みを図った。全町では実績1件だったが、過疎地域の実績はなかった。
		空き家対策支援事業	B	B	老朽危険空き家等の除却を支援した 実績：2件	老朽危険空き家等の除却を支援した 実績：3件	老朽化した空き家に対して指導を行い、3件の空き家に対してその解体を支援した。 （R4）全体：6件 羽合：4件 東郷：0件 泊：2件 （R5）全体：5件 羽合：2件 東郷：2件 泊：1件

(3)その他	地域活性化活動事業 地域活性化のための地域おこし協力隊活動（再掲） 地域活性化のためのNPO法人活動支援	C	B	みらい創造室:空き家担当3名、イベント・情報発信担当1名	デジタル・みらい戦略課:空き家担当3名（継続）、イベント・情報発信担当1名（継続）	空き家の掘り起こしについては、区長や所有者の聞き取りなどの調査を進めている。多世代交流センター、総合相談センターについては、指定管理者とより緊密に連携しながら、利用促進を図っていく。
	小さな拠点施設整備事業 泊地域の住民生活を支える買い物及び交流拠点の整備工事 泊支所の耐震整備及び改修工事（耐震補強設計、監理業務及び改修設計業務）	—	—	—	—	現状では、整備工事施設までの建設は行わない方針。
	まちづくり創造事業 まちづくりを推進する団体の活動費を助成	B	B	【実績】 ・創造事業：1団体 交付額：99,718円 ・ステップ事業：1団体 交付額：100,000円	【実績】 ・創造事業：2団体 交付額：380,000円 ・ステップ事業：1団体 交付額：100,000円	令和5年度は創造事業の対象となる団体が新たに1団体あり、創造事業で2団体、ステップ事業で1団体の助成を行った。来年度以降も制度を周知し新規団体を増やしたい。
	ボランティア団体活動助成事業 ボランティア団体の活動費を助成	B	B	実績 ：10団体 交付額：305,304円 【内訳】 東郷：6団体 交付額：270,218円 泊：4団体 交付額：80,086円	実績 ：9団体 交付額：362,788円 【内訳】 東郷：5団体 交付額：264,780円 泊：4団体 交付額：98,008円	ボランティア団体の活動に対する補助を実施。新型コロナウイルスの影響により、多くの団体が活動を休止していると聞取り。一方、R6以降は活動を再開する意向の団体もあり、今後も活動を支援していく。
	地域づくり推進事業 地域の新たな担い手育成、地域課題の解決等のためのセミナー等の開催や支援活動等の実施	C	B	具体的な事業実績なし（事業検討のみ）	【実績】 ・東郷・泊47区に面談依頼を行い、うち旭・漆原・北福区を除く44区と面談を実施した。 ・区長宅へ赴くなどし、各区の抱えている問題点の聞き取りを行った。	各区の抱える課題解決のための事業として各区が町へ行う申請書の作成支援や各区長宅へ職員が出向き、各区の状況や課題を確認するための聞き取りを行った。

1 1．地域文化の振興等

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
1 0．地域文化の振興等	(1)地域文化振興施設等 地域文化振興施設	泊歴史民俗資料館環境整備工事 資料館の改修及び周辺環境整備収蔵庫整備	B	B	R4入館者実績：123人 資料館の管理運営を実施	R5入館者実績：212人 資料館の管理運営を実施	引き続き維持管理を行っていく。
		湯梨浜町さくら工芸品工房整備事業 老朽化等による施設・整備の改修・更新	C	A	令和4年度の実績なし	【実績】 ・屋上防水補修工事 ・軒天塗装工事	老朽化により劣化している屋上防水補修や軒天の塗装を行った。今後も文化、地域振興の場として長期にわたり施設が利用できるよう必要に応じて修繕を行う。
	(3)その他	町内遺跡発掘調査事業 町内遺跡の発掘調査等	B	C	羽衣石城跡発掘調査6月～1月 遺構分布調査 3回 学術調査委員会 3回	学術調査委員会 2回	総合調査報告書の作成において、新たな資料が確認されたため、内容の確認等の必要が生じ不測の日数を要した。そのため、年度内の発刊ができなかったが、再度スケジュールの調整を行い、R6.6月の刊行予定とした。

1 2．再生可能エネルギーの利用の推進

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R 4 評価	R 5 評価	実績		R 5 評価の理由及び対策・今後の取組
					R4	R5	
1 1．再生可能エネルギーの利用促進	(2)過疎地域持続的発展特別事業 再生可能エネルギー利用	太陽光発電システム等設置事業	B	B	家庭等で太陽光発電システム等の設置した者に設置費用の一部を助成した 実績 ：2件（事業費：536千円） ※全町申請件数：15件	家庭等で太陽光発電システム等の設置した者に設置費用の一部を助成した 実績 ：6件（事業費：1,354千円） ※全町申請件数：23件	再生可能エネルギーの推進のため、太陽光発電システム及び蓄電池の設置に対して補助を行った。補助については、主に新築世帯の補助が多い傾向にあるので、他制度を利用した新築時における、制度紹介等の広報を実施していく。